

経営効率化の概要

- 今回の申請原価は、前回原価から燃料費の増加等による2,450億円(+18%)のコスト増に対し、▲1,130億円(▲8%)の効率化努力を反映しております。
- 申請原価に対する修正指示の内容を踏まえ、今後更なるコスト削減に努めてまいります。

〔効率化反映額の内訳〕

項目	H25~27平均	主な取組み内容
人的経費	▲400億円	・役員報酬の削減 ・年収水準の引き下げ、福利厚生の見直し ・採用の抑制
需給関係費 (燃料費など)	▲40億円	・調達方法の多様化等による燃料費低減
修繕費	▲290億円	・点検周期の延伸化 ・修繕工事の中止・繰延べ・規模縮小
減価償却費 (設備投資)	▲220億円	・設計基準、仕様の見直し ・工事中止・繰延べ・規模縮小
その他経費 (諸経費など)	▲180億円	・業務委託範囲・内容の見直し ・普及開発関係費、団体費、研究費等の中止・繰延べ・規模縮小
合計	▲1,130億円	—

(再掲) 資機材調達※	▲230億円	・競争発注の導入拡大(H23:14%→H27:30%)
----------------	--------	-----------------------------

※ 修繕費、廃棄物処理費、委託費、普及開発関係費、養成費、固定資産除却費、減価償却費(設備投資)の7費目を対象に、平均7%の競争導入効果を反映

〔料金原価の算定イメージ〕

